

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド 〈愛称:ロイヤル・マイル〉

追加型投信／内外／株式



ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



池田泉州TT証券

池田泉州TT証券株式会社
金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号
加入協会: 日本証券業協会

■ 設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

10年先を見据えた長期投資を、 ー伝統ある「長期投資へのアプローチ」をスコットランド・

投資の世界では、短期的な株価変動などに対して
投資家の関心が高まることがあります。

しかし、そのような短期志向は結果として、
長い目で見れば有利であったはずの投資機会を逃してしまう場合があります。

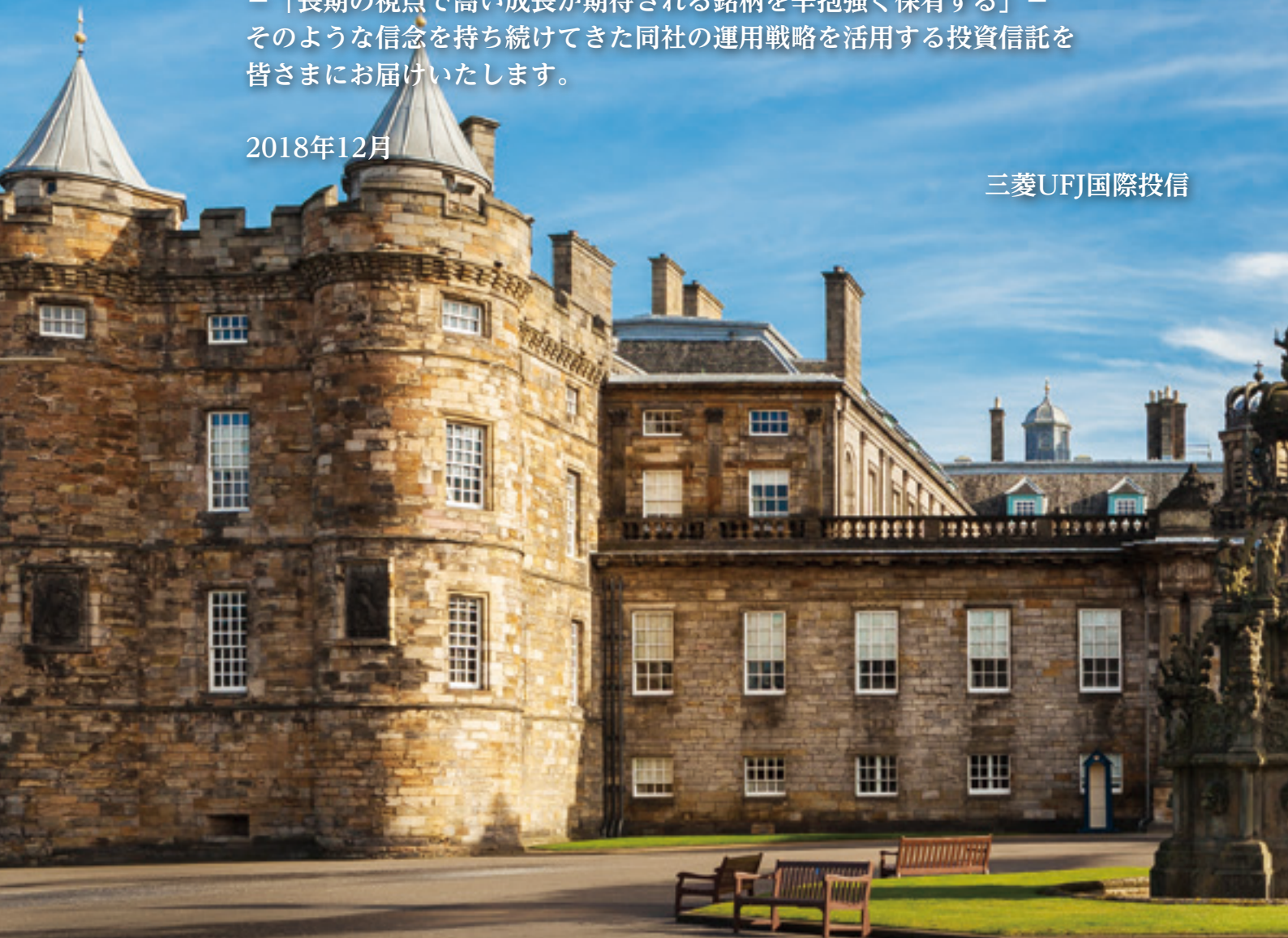
一方で、企業の長期的な成長を捉えることに主眼を置く
長期投資家も数多く存在します。その中の運用会社のひとつである
「ベイリー・ギフォード社」を皆さまはご存じでしょうか。

1908年、同社はスコットランド・エディンバラで創業して以来、
100年以上にわたり「長期投資の哲学」に基づき、
グローバル株式投資において運用実績を積み上げるとともに、
各国の年金基金などの機関投資家から資産運用を任されてきました。

ー「長期の視点で高い成長が期待される銘柄を辛抱強く保有する」ー
そのような信念を持ち続けてきた同社の運用戦略を活用する投資信託を
皆さまにお届けいたします。

2018年12月

三菱UFJ国際投信



100年以上にわたり続けてきました

エディンバラからお届けしますー

「スコットランド・エディンバラ」と「ロイヤル・マイル」のご紹介



～スコットランド・エディンバラ～



- スコットランドは英国を構成する4つの地域のひとつです。
- 人口は約540万人（2018年時点）、面積は約7.8万km²であり、人口・面積ともに北海道と同じ規模です。スコッチウiskyやタータンチェックなどがよく知られています。
- エディンバラはスコットランドの首都であり、エディンバラ城をはじめとする中世からの歴史的建造物が立ち並ぶ一方で、ヨーロッパ有数の金融センターのひとつとしても知られています。また、投資信託のルーツとなった金融商品が誕生した地のひとつとも言われています。

ROYAL MILE

～ロイヤル・マイル～

- ROYAL MILE（ロイヤル・マイル）とは、エディンバラ旧市街（世界遺産）にあるホリールードハウス宮殿とエディンバラ城を結ぶ、1マイル（約1.6km）の石畳の1本道の名称です。
- 当ファンドの愛称、「ロイヤル・マイル」は100年以上の年月を歩んできたベイリー・ギフォード社の運用を、長い歴史のあるロイヤル・マイルの1本道になぞらえています。当ファンドが、「ベイリー・ギフォード社と日本の個人投資家」をつなぐ1本の“道”になることを願っています。



（出所）外務省ホームページ、スコットランド統計局、各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

人 ファンドの目的

日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）の株式等を実質的な

人 ファンドの特色

1 長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。

- 外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。
※DR（預託証券）とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。
- 投資にあたっては、国や地域、業種、時価総額に捉われずに、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行います。

2 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが行います。

- ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドは、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの子会社で、実質的な運用はベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。

市況動向および資金動向等により、上記の

人 ベイリー・ギフォード社について

100年以上の歴史をもち、世界各国の年金基金等の資産運用を行う、スコット
その確かな運用力で、評価機関からアワードも受賞しています。

- ベイリー・ギフォード社は、1908年（明治41年）の創業以来、100年以上の長い歴史をもつ資産運用会社です。
- 同社は日々の経営に責任を持つパートナーが全額出資する「パートナーシップ」とよばれる会社形態をとっています。短期的な株式価値の向上を求められることがある株式会社とは異なり、パートナーシップでは長期的な目標達成をめざすことができます。
- 長期でしっかり成長が期待される企業へ投資することを信念とした運用を行っています。



2019 Best of the
Best Awards
-Asia Asset
Management

2018 Professional
Pensions
Investment Awards
-incisive media

* 評価期間を表しています。
・ 個別商品への言及は当該
・ 上記は各評価機関による、
掲載しています。当該評価
運用成果を保証するもので

主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

3 原則として、為替ヘッジは行いません。

4 年1回の決算時(1月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。
(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ような運用が行えない場合があります。

ランド・エディンバラの資産運用会社です。

主な受賞歴

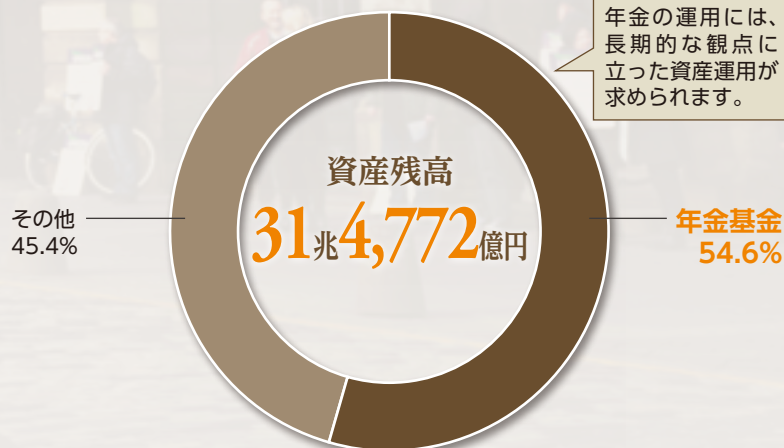
グローバル株式部門 (10年*) /
新興国株式部門 (10年*) 等
(基準日: 2018年9月末)

グローバル株式部門
(基準日: 2018年6月末)

商品の推奨や勧誘を意図するものではありません。
2020年1月末時点から過去2年間で受賞したものを
は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の
はありません。

資産残高に占める年金基金の割合

(2019年12月末現在)



(出所) ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

人 運用戦略*のご紹介

*当ファンドが投資する外国投資法人（以下、投資対象ファンドということが

ベイリー・ギフォード社のグローバル株式運用戦略である「ロングターム・視点で銘柄選定を行います。

Long Term = 長期的な視野

- 短期的な株価や業績の変動にとらわれることなく、より多くの投資機会を発掘します。

Global = 世界の株式が投資対象

- 新興国を含む世界の株式から、企業の魅力度に応じて投資配分を決定します。

Growth = 成長性に期待

- 10年先にわたって、継続可能な成長力を持つ企業に投資を行うことにより、時間の経過と共に大きなリターンの獲得が期待されます。

LTGG戦略の

少数精鋭のチームで、投資アイデアの独創性と想像力を発揮しています。



James Anderson

運用経験年数：36年
在籍年数：36年



Mark Urquhart

運用経験年数：23年
在籍年数：23年



Linda Lin

運用経験年数：9年
在籍年数：5年



Michael Pye

運用経験年数：6年
在籍年数：6年

人 銘柄を選ぶ10のチェックポイント

LTGG戦略の運用チームは、ポートフォリオの構築にあたり、以下の「10の

産業の魅力度



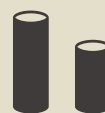
- 1 今後5年で売上が2倍になる余地があるか？
- 2 それ以降の見通しはどうか？

企業の競争力



- 3 競争優位な点は何か？
- 4 企業文化は他社と明確に差別化されているか？
- 5 なぜ顧客はその企業を好むのか？社会に貢献する姿勢は？

財務基盤



- 6 資本利か？
- 7 資本利のか？するの

・ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を

グローバル・グロース戦略 (LTGG戦略)」を活用し、10年先を見据え、長期の

運用チーム

の創出・調査・議論を活発に行い、



Tom Slater

運用経験年数：19年
在籍年数：19年



John MacDougall

運用経験年数：19年
在籍年数：19年



Robert Wilson

運用経験年数：3年
在籍年数：3年

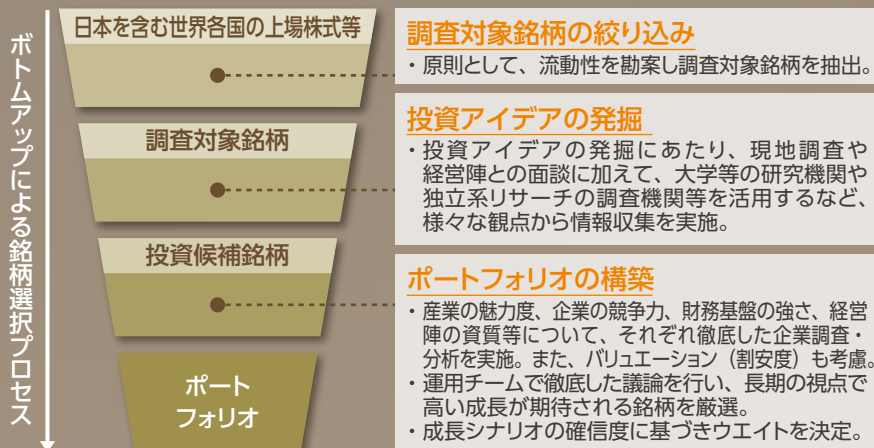


Gemma Barkhuisen

運用経験年数：2年
在籍年数：2年

(出所) ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

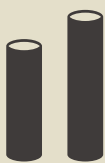
運用プロセス



・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際に投資対象ファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。

チェックポイント」を用いています。

の強さ



益率は魅力的

益率は上昇する
それとも低下
か？

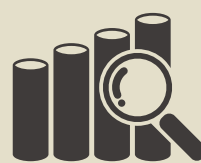
経営陣の資質



8

どのように資本配分を
しているのか？
(設備投資、配当や
撤退戦略等)

バリュエーション



9

株価が5倍以上になる
可能性は？

10

なぜ市場は
見過ごしているのか？

示唆・保証するものではありません。上記チェックポイントは、今後変更されることがあります。

(出所) ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

(ご参考) 運用戦略のパフォーマンス

2004年2月の設定来、LTGG
「長期の視点で高い成長が期待

下記は、長期の運用実績をお示しするため、設定来のパフォーマンス推移、期間別の騰落率についてはLTGGコンボジットのデータを用いて投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。

※コンボジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

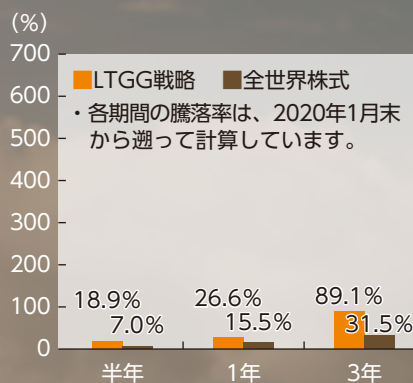
設定来のパフォーマンス推移

(期間:2004年2月末~2020年1月末)



・上記では、代表的な指数の中で、LTGG戦略の投資対象の性質を表すのに、運用チームが相応と考える全世界株式と比較しています。全世界株式は、MSCI オール・LTGGコンボジットは、運用報酬控除後、円ベース、配当および分配金再投資のパフォーマンスを表しています。・銘柄平均保有期間は代表ファンドの5年平均の売買使用しています。・上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・計測期間が異なる場合は結果も異なる点に

期間別の



運用実績 (2020年1月末現在) 最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認ください

基準価額および純資産総額の推移



分配金実績 (1万口当たり、税引前)

2020/01	0円
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
設定来累計	0円

資産構成

	比率
投資信託証券	98.4%
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション(円建)	98.4%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%
コールローン他	1.6%

・基準価額は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールドインデックス(配当込み、円ベース)です。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・参考指数は、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

実質的な投資を グローバル・

ベイリー・ギフォード世界長期成長株
ファンド・クラスC・JPY・アキュムレー

運用資産構成

	比率
実質株式組入比率	98.0%
その他現金等	2.0%

組入上位10カ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	54.6%
2	中国	22.9%
3	フランス	7.0%
4	オランダ	3.5%
5	スペイン	2.2%
6	カナダ	2.2%
7	ドイツ	2.2%
8	スウェーデン	2.1%
9	香港	1.4%
10	—	—

・運用資産構成のその他現金等は純資産に対する割合です。・国・地域は、ベイリー・セクターで分類しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

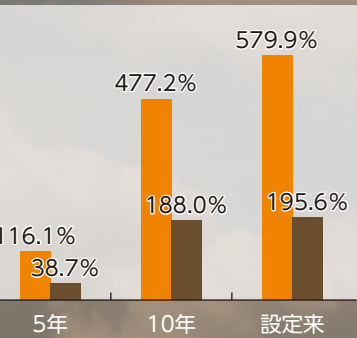
戦略は、全世界株式と比較して堅調に推移してきました。
される銘柄を辛抱強く保有する」ことが、堅調なパフォーマンスを支えています。

います。また、銘柄平均保有期間については、代表ファンドのデータを用いています。LTGGコンボジットおよび代表ファンドは、当ファンドの
また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当該コンボジットには当ファンドの投資対象ファンドも含まれます。

騰落率

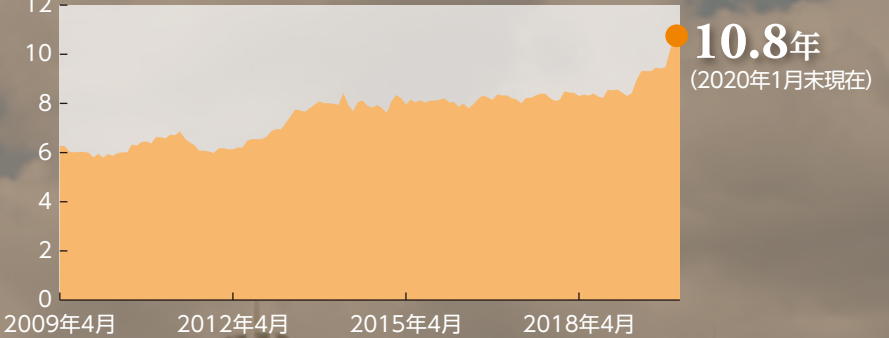
(期間:2004年2月末～2020年1月末)



カントリー・ワールド インデックス (税引き後配当込み米ドルベース) をもとに委託会社が円換算したものです。全世界株式は当ファンドのベンチマークではありません。
回転率から算出しています。売買回転率は、株式売買額をポートフォリオの時価総額で除したものです。・銘柄平均保有期間は、入手可能な2004年4月末以降のデータを
ご注意ください。(出所) Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

銘柄平均保有期間

(期間:2004年4月末～2020年1月末)



行う「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グロース・ファンド」の運用状況 (2020年1月末現在)

最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認ください。

ファンド (愛称: ロイヤル・マイル) の主要投資対象であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・
ション (円建) の運用会社のベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッド提供のデータを掲載しています。

組入上位10業種

	業種	比率
1	一般消費財・サービス	44.6%
2	コミュニケーション・サービス	22.2%
3	情報技術	16.8%
4	ヘルスケア	12.1%
5	金融	1.4%
6	生活必需品	0.9%
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:31銘柄)

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	10.0%
2	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	7.5%
3	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	中国	一般消費財・サービス	6.3%
4	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	コミュニケーション・サービス	6.2%
5	ILLUMINA INC	アメリカ	ヘルスケア	5.6%
6	KERING	フランス	一般消費財・サービス	4.4%
7	FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.4%
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.1%
9	NETFLIX INC	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.9%
10	NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	3.7%

総額－実質株式組入比率です。・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。・比率は投資対象ファンドの純資産総額に
ギフォード・インベストメント・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドの定義に基づいています。・業種はGICS (世界産業分類基準) の

また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

(ご参考) 代表ファンドの組入銘柄のご紹介

下記は、長期の運用実績をお示しするため、2020年1月末時点における代表ファンドの組入上位銘柄の中から、業種を勘案してご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドにおいて下記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

アマゾン・ドット・コム Amazon.com, inc.

国・地域：アメリカ
業種：一般消費財・サービス

株 価 | (期間：2004年2月末～2020年1月末)



保有期間 |

15 Years



企業情報 |

米国のオンライン小売会社で、多岐にわたる商品を販売。顧客別にカスタマイズされたショッピングサービスの提供や、オンラインを通じたコンテンツ配信、電子書籍の販売等の事業も手がけています。クラウドサービスである「アマゾン・ウェブ・サービス (AWS)」といったデータセンター運営も行っており、ビッグデータ関連銘柄としても注目されています。また、Amazonプライム特典の拡充による会員数の拡大に努めています。

テンセント・ホールディングス Tencent Holdings Limited

国・地域：中国
業種：コミュニケーション・サービス

株 価 | (期間：2004年2月末～2020年1月末)



保有期間 |

10 Years



企業情報 |

中国のインターネット・サービスの大手。「中国版LINE」といわれるスマートフォン向けチャットアプリ「ウィーチャット」は10億人を超えるユーザーを抱えています。アプリ自体は無償で提供されるものの、膨大な会員プラットフォームを活用して幅広いサービスを展開し、ゲームなどの有償サービスに誘導することで高い利益をあげています。

イルミナ Illumina, Inc

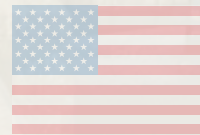
国・地域：アメリカ
業種：ヘルスケア

株 価 | (期間：2004年2月末～2020年1月末)



保有期間 |

8 Years



企業情報 |

遺伝子の変異や、生体機能を大規模なスケールで分析するシステムの開発・製造・販売を手掛けています。遺伝情報は生物の設計図のようなものであり、解析することで、がんの早期発見や、一人ひとりに合った治療法、健康法の発見などの様々な方面での応用が期待されています。

(出所) Bloombergのデータ、ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの資料、各社HP等の情報を基に三菱UFJ国際投信作成

・国・地域は、ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。・業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターで分類しています。・保有期間は2020年1月末時点での保有期間年数を示しています（月単位切り捨て）。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。

信用リスク

株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

流動性リスク

株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

カントリー・リスク

ファンドは、新興国の株式に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に行われるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

<投資対象ファンド（国内投資信託を除く）の信用リスク管理方法>

投資対象ファンドの管理会社および投資運用会社は、投資対象ファンドにおいて、欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に定めるリスク管理方法に基づき信用リスクを管理します。

【本資料で使用している指数について】

■ 全世界株式：MSCI オールカントリー・ワールド インデックス

MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

【GICS（世界産業分類基準）について】

Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

 お申込みメモ

購入時	購入単位 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	購入価額 購入申込受付日の翌々営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金時	換金単位 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	換金価額 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込について	申込不可日 次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ダブリンの銀行の休業日およびその前営業日
	申込締切時間 原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
	換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
	信託期間 2029年1月25日まで（2019年1月31日設定）
	繰上償還 受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。なお、ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。
その他	決算日 毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）
	収益分配 年1回の決算時に分配金額を決定します。（分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。）販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
	課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

 ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%（税抜 3.00%） 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用（信託報酬）	■ファンド 日々の純資産総額に対して、 年率1.5895%（税抜 年率1.4450%） をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.055%以内 （マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。） ■実質的な負担 ファンドの純資産総額に対して 年率1.6445%程度（税抜 年率1.5000%程度） ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託（管理）報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社（ファンドの運用の指図等）

三菱UFJ国際投信株式会社

お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034（受付時間／営業日の9:00～17:00）
●ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

受託会社（ファンドの財産の保管・管理等）

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社（購入・換金の取扱い等）

販売会社は、上記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。 ●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。